

東京マラソン2010

本庁支部 坂田 英之

平成22年2月28日（日）午前9時10分、気温5度、冷たい雨が降りしきる中、石原慎太郎都知事のピストルとともに号砲が鳴り響き、史上最多3万5千人のランナーが一斉にゴール東京ビックサイトを目指し東京の街へ飛び出していきました。

そうです、今年で4回目を迎えた、国内最大の市民マラソン「東京マラソン」です。すでに説明不要なほどメジャー大会となりましたが、まだたったの4回目なんですね。にもかかわらず、ニューヨークやロンドンといった歴史ある大会と肩を並べ、日本で唯一のワールドラベルを取得するまでの大会へと成長しました。それほど、人気、規模、運営、ロケーション etc..どれをとっても一級品の魅力があるということでしょう。確かに東京の中心街のそれも車道を堂々と走れるなんて想像しただけでもわくわくしませんか？・・・多分ドMな数十人か何百人か何千人かは頷いたはずです。まあ、僕もその一人な訳で。迷わずエントリー。約9倍の倍率ながら見事当選。幸運にも出走の権利を得たのでした。

さて、東京マラソンが3回目のフルマラソンとなったのですが、ランニングを始めることとなったきっかけは2年前に職場で始めたダイエットクラブ(現在、活動休止中。っちゅうか僕以外脱退。)でした。その後ランニング好きの友達がいろいろな大会に勝手に申し込んでくれたのがきっかけで真面目に走ることとなり、今では何の抵抗もなく走ってしまうまでになりました。といってもどっかの「土Mな事務所」のように変態チックに走るのではなく、あくまでダイエットと健康維持の延長線上としてランニングを楽しんでいるだけです。

と話はそれましたが、運良く出走権を得て、走ってきましたのでご紹介させていただきます。

まずは前日27日（土）にゴールとなる東京ビックサイトで受付です。東京マラソンは当日の混乱を減らすため前日までに受付を終了させなければなりません。また会場では同時に「東京マラソン EXPO」が開催されています。



※東京マラソンEXPO会場。様々な協賛メーカーのブースがあります。

僕たちランナーは受付を済ませてナンバーカードをゲット！やっと出走の実感が沸いてきます。続いて参加賞のTシャツをもらい、隣接の「EXPO」会場へ。ちなみに出走者へはいろいろな特典があり、下の写真のようなものがもらえます。（さらに完走した後は完走メダルと記念バスタオル）また、会場でもいろいろともらえますので走らない方もそれなりに楽しめるイベントとなっています。もっと見てみたかったのですが、翌日があるし人が多すぎて気持ち悪いので早々にホテルへと行き初日は終了。



※ランナーは記念にいろんなものがもらえます。写っていませんがタオルやメダルも

さて28日（日）当日。朝5時半過ぎに起床。勢いよくカーテンを開け、降りしきる雨を見てテンション落ちるも、大会は開催とのこと。準備をしていざスタートの地新宿へ！新宿駅について都庁へ向かうランナー達を発見！！・・・ってものすごい数。



※新宿駅から都庁へ向かうランナー達

そりゃそうですね。3万5千人ですから。とりあえず、雨がすごいので都庁手前の新宿センタービルで準備開始。しかし、みんな同じことを考えているようでトイレに30分も並ぶ羽目に。来年出走される方いましたら要注意です。

そうこうしているうちに手荷物預けの締切時間が迫ります。東京マラソンはスタートとゴールが違うので荷物をゴール会場まで運んでくれます。その運搬トラックは見えただけで15台ほどでしたが、多分さらに倍以上はあったかと思います。



※荷物を預けるランナー。奥に写るのが荷物を運ぶトラックです。



※スタート前のスタンバイ状況。後ろには更に何倍もの人が待機しています。

荷物を預けて安心したのも束の間、今度は出走場所への誘導時間の締切が迫ります。これに間に合わないと、最後尾からのスタートだそう。この様に大きな大会だとスタートして最後尾がスタートゲートをくぐるまで約20分程かかるそうです。せっかくDブロック（前から3分の1くらいのところ）スタートなので急いでDブロックへ。そんなドタバタで全くアップもできないままスタンバイ。降りしきる雨と低い気温。テンション落ちまくりです・・・が！9時9分「スタート1分前」のアナウンスでテンションも復活！！

そして遂にその時が訪れます。9時10分、石原慎太郎東京都知事のピストルと同時に号砲、それを聞いた3万5千人のランナーの拍手と歓喜の音が地鳴りのように鳴り響き・・・ホント鳥肌モンです。このときだけは雨も寒さも忘れしました。



※スタート直後ランナーを送り出す石原慎太郎大会会長と河野洋平組織委員会会長

しかしスタート台の上からランナーを見送る都知事の前を通り過ぎ東京の街へと繰り出せば現実に引き戻されます。余韻に浸っているのはここまでで、ここから42.195kmの長い長い道のりの始まりです。

コースとはいいますが、新宿～飯田橋～皇居前～日比谷～品川駅前折返～日比谷～銀座～日本橋～浅草雷門折返～日本橋～銀座～月島～豊洲～ビックサイトでゴール！ざっとこんな感じでしょうか。

それにしても素晴らしい大会です。世界のトップランナーと同じ大会で走れますし、沿道でのイベントはすごいし、エイドも充実しているし、コスプレランナーは楽しませてくれるし、とにかく楽しいです。そして中でも最大の魅力は「ロケーション」と「途切れることのない沿道の声援」でしょう。これがこの東京マラソンが短期間に世界の有名レースと肩を並べた要因ではないでしょうか。皇居や銀座、浅草などの観光名所を周るこのコース。テレビで見たり、観光で行った場所を、道路を走りながら回ります。普段は車が行き交う中心街の道路もこの日ばかりはランナーが走るために封鎖されます。こんな贅沢はありません。皇居を眺めたり、東京タワーを眺めたり、雷門や歌舞伎座を眺めたり、見たことがない場所でも素敵な場所がありました。こんな感じで景色を見ながら走っていると飽きることはありません。また、普段は地下鉄などで移動するのでいまいちわからなかった位置関係も「へえ〜、これくらいの距離なんだ。」って感じでこれまた楽しめます。



皇居、内堀通り



普段の内堀通り



芝公園前



浅草、雷門前



銀座の封鎖状況

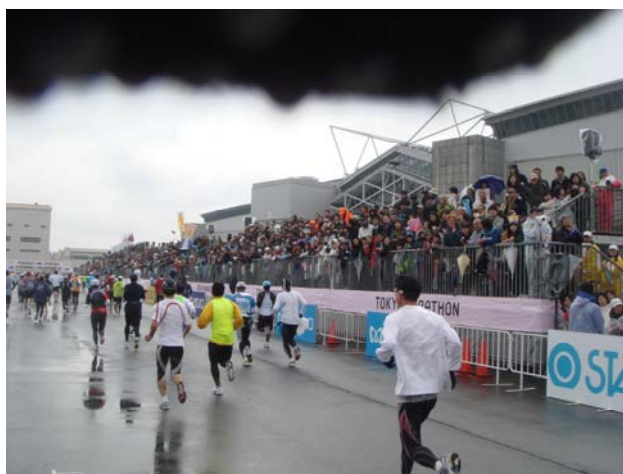


4月で改装のため一時閉鎖される歌舞伎座

そしてマラソンを走る上で一番重要と言ってもいい(自分だけでしょうか?)沿道の声援

ですが、すごいです！！これまた鳥肌が立ちます。なんとその観客数166万人だそうです。冷たい雨にもかかわらず声援が途切れることはありませんでした。沿道の声援がどれだけのランナーに力を与えてくれるかはマラソンに出たことある人はわかると思います。レース中に何度かきつかったり痛みなんかで歩きそうになることがあるんですが、そんなときに沿道からの「頑張れっ！」って声が聞こえると止まりそうな足が動き出します。「ありがと〜！」って御礼を言い、沿道の方々とハイタッチをすると笑顔になりスピードが出ます。不思議なものです。20kmも30kmも走ってきたのに寒さも足の痛みも和らいで再び走りだせるんですから。また寒い中ランナーのために笑顔で飲み物や食べ物を提供してくれるボランティアの方々など沢山の人のおかげで走れているんだと実感します。このときの感情はどう表現していいかわからないんですが、とにかく感動です。極限にきつい時の人の温かみは心にしみます。こういうことを味わっていくうちにやめられなくなるのかなあって思います（笑）これほどMな人にお勧めなスポーツはないですね。

さて、いろいろな名所を回りまして、35kmを過ぎのコース最大の難所佃大橋を最後の力を振りぼって越えれば残りは6km程。後は根性です。残り3kmで合唱団が歌う「負けないで」に感動。「だから24時間テレビで最後のほうに歌ってんだな」ってひとり納得しながら最後の橋を越えるとゴールのビックサイトが見えてきます。ここで「やったゴールだ〜」ってうれしい想いと、「あ〜もう終わりかあ」って残念な気持ちが入り交じり少し複雑な気持ちです。しかしゴールは近づいてきます。そしてボランティアの方応援の方など様々な方に感謝しながら、最後のスタンド前を駆け抜けゴール！



※最後のストレート。おく〜のほうに見えるのがゴールゲートです。

長くて短い夢のような時間が終わった瞬間です。タイムは3:56:13とギリギリながら今回も無事サブ4達成。この寒さと雨、写真撮影をしながらにしては上出来！かな？（本当はサブ3.5が目標でしたが。。）

と長々と書いてきましたがいかがでしたでしょうか、東京マラソン体験記。走りたくなったり数人はいらっしゃるのではないのでしょうか？当然いきなり走って完走できるものでもありませんので多少の練習は必要ですが、最初のほうにも書いたとおり、自分の気持ちいいス

ピードで走っていればいいんです、速く走る必要はありません。逆にゆっくり走って景色を楽しむくらいがちょうどいいです。そしてレースに出ているんな方とふれあえば更にランニングが好きになるはずです。あっ、あと「一緒に走ってくれる素敵で愉快的仲間や変態達」も必要ですね。周りにいなければ「素敵な変態達」をご紹介しますので遠慮なくお声かけください。そしてなかなか出られる大会ではありませんが、是非「東京マラソン」を走っていただきたいものです。本当に素晴らしい大会ですから！！



おまけ。ゴールゲートの後ろに、浅草キッドの玉袋筋太郎さんがいたので写真を撮ったんですが、福岡県土の小○さんに似ていたので参考までに添付させていただきます。(本人(小○さん)より掲載の了承は得ました。)でも本当の小○さんを知らない方！実物の小松さんはカッコイイですよ。

